

NEWS

【堺市議会が辺野古新基地建設意見書採択へ】 半年かけた市民の取り組みに市議会が応えました。 500人を越す請願署名スタート集会、9221筆の請 願署名提出、10万枚の市内全域ポス ティングなどが実を結びます。



この運動を取り組んでいる市民団体「堺からも声を」には、堺市で「市民と野党の共闘」に取り組んでいるメンバーや堺市民懇(革新懇)、宗教者など幅広い市民が協力し合っています。「誠実な対話を求める」意見書案はソレイユ堺(8人)が提出し、「住民理解が乏しい上での土砂投入工事実施」が国と地方自治体との関係で「悪しき前例となる」と指摘。国と県、地元市町村との「誠実な協議を通じた事態の打開」を求め、維新(13人)、共産(6人)、無所属が賛成していると、朝

日新聞は報じました。明日20日の本会議で可決されることとなりますが、「堺からも声を」は本議会開会前のスタンディングと議会傍聴を呼びかけています。市民団体の前田 純一さんは「全国津々浦々の自治体議会から意見書が上がれば安倍への打撃になりますね。特に維新の強い大阪府下では、堺の意見書と同内容であれば可決できる可能性が生まれます」と語っています。

参考案内

市民と野党の共闘すすめる「大阪アピール」(呼びかけ人、富田宏治さん、梅田章二さん、二木洋子さん、笑福亭竹林さん、木戸衛一さん、長崎由美子さん、山元一英さん、山川義保さん、木津川計さん、渡辺武さん、鰐坂真さんら)が、大阪府下で活動する18の市民連動運動団体に呼び掛けて開催する下記の講演会への参加を呼び掛けています。(毎日新聞が事前案内)

12・22講演会「市民運動が選挙を変える」

(12月22日土曜日午後1時30分、PLP 会館・地下鉄「扇町駅」④出口)

講演 「市民運動が選挙を変える」

—「新潟の奇跡」起こした政治学者からの提案

講演者 市民連合@新潟 共同代表・佐々木寛さん